

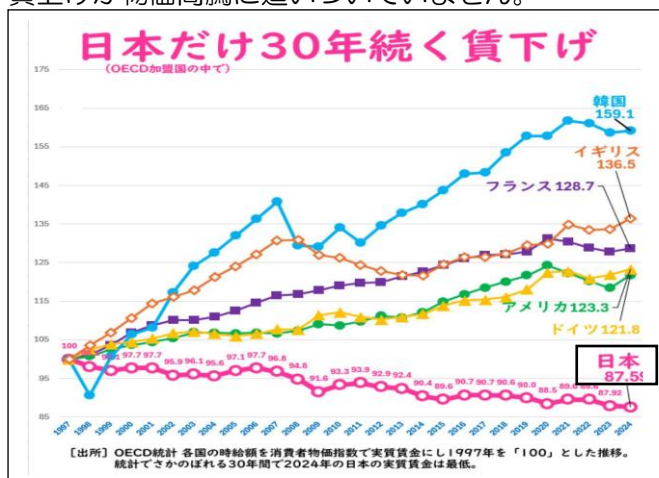
2026 年春闘方針 こんな春闘にしよう！

すべての仲間の大幅賃上げをめざし、 地域での共同行動に取り組もう！

2026 年 2 月 3 日 目黒地区労働組合協議会

2026 年春闘をめぐる取組み状況

2026 春闘へどう取組むか、各労働組合・団体が年末から討論が行われています。政府・大企業は「5%賃上げ」の継続を言っていますが、私たちのまわりでは、実質賃金低迷を打開するには「10%以上」との声も広がっています。12 月に発表された厚生労働省の毎月統計(10 月分速報)で、実質賃金は前年同月比マイナス 0.7%となり、1 月より 10 ヶ月連続減少です。22 年～24 年度の 3 年連続マイナスで、25 年度もマイナスが濃厚で、賃上げが物価高騰に追いついていません。



全労連・国民春闘共闘、11 月の春闘討論集会で、賃上げ要求を前年から 1000 円引上げ、月額 33000 円以上(10%)としました。時間額は前年から 50 円上乗せし、250 円以上(17%)です。また最低賃金要求は、従来の 1500 円から「いますぐ全国一律 1700 円以上、めざせ 2000 円」に引き上げています。最低生計費調査に物価高騰を加味して再計算すると、1700 円以上が必要となっており、2000 円に迫っています。これを正面からとらえ、要求をバージョンアップしています。

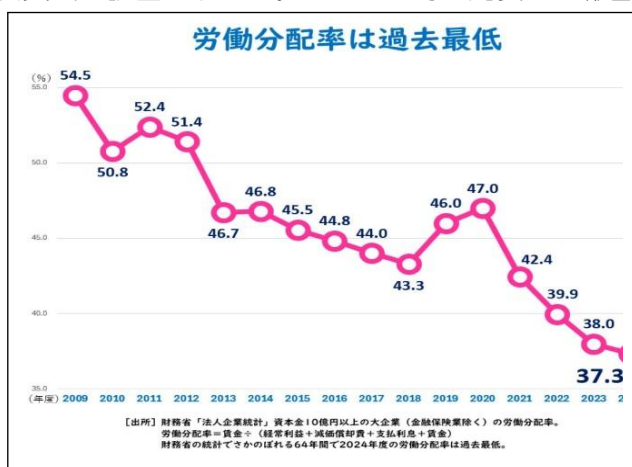
ケア労働者の大幅賃上げにも取り組んでいます。ケア労働賃金停滞が深刻です。厚労省「賃金引上げ等の実態に関する調査」では、25 春闘の賃上げの全体平均は月額 13601 円で、前年を 1640 円上回ったのに対し、産業別集計の「医療、福祉」は 5589 円で、前年から 1287 円減り、全産業最低となっています。国立病院での全国一斉ストライキなどを繰り返し、要求を追及してきたことで、報酬引き上げを求める世論は事業者、自治体や患者・利用者にも「報酬 10%引上げ」と広がっています。医労連などでは、「闘いを成果に結びつける春闘にしよう！」と呼びかけています。

連合は 2 年連続で 5%賃上げ(ベア 3%)を要求・実現したものの、実質賃金低迷を脱しないことから、取り組みを見直すため、有識者による「未来づくり春闘」評価委員会を設置しました。しかし 9 月に発表した報告書は、「物価の後追いとなる賃金要求では、人々に前向きな賃金上昇期待を抱かせることが難しい」とする一方、26 春闘の要求基準は「5%がひとつの目安となる」と、現状のままでした。11 月の連合中央委員会で採択した春闘方針は、統一要求を 5%以上とし、中小企業は 6%、非正規雇用労働者は 7%に上乗せするとしました。

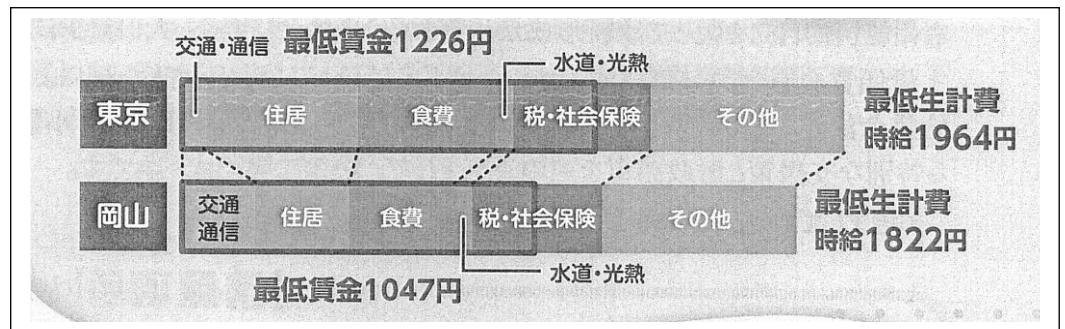
連合加盟の各労組は、連合要求に上乗せをはかっています。UA ゼンセンは方針案で、正社員要求が総額 6%基準 18000 円。パート時給の要求は、制度昇給と合わせ 7%基準 85 円としています。最賃についても、「企業内最賃が先行して 1500 円に達するよう取り組む」ともしています。

自動車、電機などの大企業労組が集まる金属労協は、1 月要求を月額 12000 円以上と前年据え置きです。自動車総連はベア要求「12000 円以上の実現にこだわら」とし、前回の「踏まえる」から表現を強化しています。機関労連は、ベア要求月額 15000 円以上とし、部門部会で上積み認めるとしています。中小製造業の JAM は、ベア要求を前年より 2000 円引上げ、17000 円以上、定昇込み 21500 円以上としています。

自動車、電機などの大企業労組が集まる金属労協は、1 月要求を月額 12000 円以上と前年据え置きです。自動車総連はベア要求「12000 円以上の実現にこだわら」とし、前回の「踏まえる」から表現を強化しています。機関労連は、ベア要求月額 15000 円以上とし、部門部会で上積み認めるとしています。中小製造業の JAM は、ベア要求を前年より 2000 円引上げ、17000 円以上、定昇込み 21500 円以上としています。



自動車、電機などの大企業労組が集まる金属労協は、1 月要求を月額 12000 円以上と前年据え置きです。自動車総連はベア要求「12000 円以上の実現にこだわら」とし、前回の「踏まえる」から表現を強化しています。機関労連は、ベア要求月額 15000 円以上とし、部門部会で上積み認めるとしています。中小製造業の JAM は、ベア要求を前年より 2000 円引上げ、17000 円以上、定昇込み 21500 円以上としています。



目黒労協 2026 年春闘を取り組む基本方針

この 2 年、労働組合の頑張りで賃上げが実現しているものの、物価高騰がこれを上回っているため、実質賃金は増えずに個人の可処分所得も減少傾向にあります。日本経済の約 7 割は内需であり、経済を上向かせるには物価上昇幅に合わせ、着々と最低賃金を引き上げ、長年続く「低賃金・低消費」から抜け出す必要があります。

春闘の基本要求は、あくまでも基本給のベースアップが主軸の賃金要求であり、目黒労協が掲げる労働条件の目標を、春闘要求の重要な選択肢の 1 つとして闘いましょう。そしてすべての加盟組合が、賃金要求にとどまらない個別の職場要求・交渉を追及し、すべての仲間の大幅賃上げ実現をめざし、地域の仲間たちと共に支え合い、団結して 26 春闘を最後まで闘い抜きましょう。

2026 年春闘 私たちの要求

1. 物価高騰による実質賃金減少分を上回る大幅賃上げを！
2. 最低賃金は全国一律で今すぐ 1,500 円以上に、そしてめざそう 2,000 円を！
3. 障がい者などにも最低賃金を適用するなど、制度の改善をはかろう！
4. 裁量労働制の拡大や解雇の金銭解決、労働時間規制の適用除外など、労基法の解体を許すな！
5. 労働基本権を守り、違法就労と不当労働行為の撲滅に団結して闘おう！
6. 非正規労働者の処遇改善と男女同一労働同一賃金の確立！
7. 時間外労働や不払い残業をなくし、8 時間働けば普通に暮らせる社会の実現を目指そう！
8. 福祉・社会保障の充実。年金制度、医療・介護制度に国民の声を反映させよう！
9. 自衛隊の海外派遣や憲法改悪に反対し『9 条』を守ろう！
10. 軍事大国化に反対し、憲法違反の安保法制は廃止を！

2026 年春闘での取り組み方

1. 春闘を契機に未組織労働者および未加盟労組への働きかけ
レクやホームページの活用、宣伝活動の取り組みなどを工夫強化して、労協全体で行動しよう。
2. 賃金・労働条件改善闘争での共同行動の推進
 - ① 職場要求を作ろう！ 「生活の現状を見つめなおし」と「多くの組合員が納得できる」そして、多くの労働者の「団結強化」に結びつく要求を作ろう。
 - ② 「労働条件の最低基準と目標」をみんなで認識し、職場の労働条件を総点検しよう。
 - ③ 職場内での取り組みにとどまらず、地域の共 2 取り組みには積極的に参加しよう。
3. 全国一律最低賃金制度、確立運動の取り組み
 - ① 「最低賃金」制度・仕組みや、「企業内最賃」に取り組もう！ また、「全国一律地域最賃」の早期実現に向けた取組みを地域や他団体などとも共同し、可能な取組みを追求しよう。
 - ② 働き方・労働法制改悪反対の取組みについて、執行委員会で教宣活動や行動を提起します。
4. 体制と財政
 - ① 委員会で方針が確定したのち、執行委員会に春闘闘争労組の出席を認めます。
 - ② 大会決定の春闘カンパ（1.6 ヶ月分）の、早期納入を要請します。